

令和4年度 ふじのみや寄附金 受納状況

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

令和4年度のふじのみや寄附金（ふるさと納税）の受納状況は次のとおりです。
皆様からの御厚意に心から感謝申し上げます。

▶件数・寄附金額

25万211件 42億6,440万円

▶寄附金の使いみち

	用途	件数	寄附額(円)
1	富士宮市政全体のため（地方創生事業等）	159,946	2,771,439,000
2	郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり （教育文化）	34,141	567,456,000
3	「富士山基金」 日本人のふるさと富士山のために	19,529	323,633,000
4	みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり （健康福祉）	11,176	184,877,000
5	富士山の自然と調和した 循環力があるまちづくり （環境）	10,605	173,981,000
6	豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり （市民生活）	6,132	97,972,000
7	富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり （都市整備）	3,690	59,229,000
8	新型コロナウイルス感染症対策のために	2,036	33,800,000
9	市民と一緒に取り組むまちづくり （市民参加・行財政）	1,633	27,560,000
10	富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり （産業）	1,321	24,466,000
11	不明	2	27,000
	総計	250,211	4,264,440,000

令和4年度も、多数の方からご寄附により応援していただき、ありがとうございました。
皆様からいただいた寄附金を活用し、これからも世界遺産・富士山の自然と恵みを大切に守りながら、安全・安心かつ活力のあるまちづくりを行い、市民と富士宮にお越しになる皆さまが楽しみ、感動できるまちを目指してまいります。

ふじのみや寄附金の活用について

寄附金は、皆さまのご意見を参考にしながら、大切にに使わせていただいております。活用事業の一部をご紹介します。

地域間交流事業 出張商店街プロジェクト

商店街の皆さんが、商店がなくなってしまった地域などへ出張し、商品販売やワークショップを実施します。単なる商品販売が目的ではなく、顔の見える関係を作りながら買い物の楽しさを感じていただくと同時に、そこで出会った方々の交流の場となることを目的に実施しています。



ふじのみやベビーステーション事業

コンビニなどで粉ミルク用のお湯の提供や紙おむつの販売などを行う「ベビーステーション事業」を、NPO 法人母力向上委員会と協働で展開しています。店舗に対して、子育てを理解してもらうための体験講習会の実施、抽選会やリーフレット作成を行い、当事業の認知拡大・情報発信にも積極的に取り組んでいます。



小規模校放課後活動送迎支援事業

児童数が少ない小規模校では、校区に放課後児童クラブがなく、保護者が就労に苦慮するケースや他地域の放課後児童クラブがある小学校に通学するといったケースが見られます。

既存の「宮タク」制度を活用し、現在、校区に放課後児童クラブがない小学校の児童の、近接する校区にある放課後児童クラブへの通所を支援しています。

